

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	市川市おひさまキッズ		
○保護者評価実施期間	令和7年12月3日		～ 令和7年12月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	令和7年12月3日		～ 令和7年12月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月16日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援プログラムをもとに一人ひとりの特性や発達に合わせた療育を行っています	お子さんのできる事、その先を見極め、成功体験を積み重ねることで次に繋がる療育が提供できるよう、日々職員間で統一した支援を行うようにしています	日々のお子さんの感情を汲み取り、専門職と情報交換を行いながら楽しく参加できる方法を探っていきます。職員の質の向上のため、研修会等に参加し学びの機会を増やしていきます
2	在園中は、専門職との情報共有、入学後も安心して通える放課後等デイサービスや就学先への引き継ぎ等サービスの提供を行っています	外部講師や専門職、卒園児の保護者による勉強会を行い必要な情報を得て、不安が軽減できるよう情報の提案、福祉サービス等の提供を行っています	保護者のニーズを把握し、外部の勉強会の紹介や各サービス等の情報の提供を行っています
3	保護者とのコミュニケーションを積極的に行い、課題の早期発見や共通理解を深めています	保護者から得た情報を職員間で共有し、お子さんの体調面、安全面等の配慮を行い、快適に過ごせる環境を作っています	保護者との連携を強化して情報や相談を専門職と共に検討し、解決に向けて取り組んでいます

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	公民館との複合施設のため、車椅子やバギーが使用しづらい箇所があります	公民館の築年数経っていて、全体的に古く修繕を行っていますが、老朽化している箇所があります	子供の目線に立ち回り環境設定の配慮、職員の連携を強化し安全で快適に過ごしていけるようにしていきます
2	地域交流や活動の場が少なく、おひさまキッズの周知がされていません	地域交流は行っておらず、交流保育は年長児のみの参加が多く活動の場があまりありませんでした	次年度は、交流保育やおおぞらキッズとの行事の合同開催を行っています 地域交流を行い、交流できる場の提供をしています
3	第三者による、外部評価を行っていません	職員間で振り返りを行っているも、特定の職員であるため、客観的な指摘がなく業務改善の停滞の可能性が考えられます	職員のセルフチェックの実施、外部研修への参加、保護者アンケートの公表から、問題点を職員間で評価することで業務改善に努めていきます